

認知症になっても 安心して暮らせるまちおおた

認知症は、誰もがかかる可能性がある身近な脳の病気。2025年には高齢者(65歳以上)の約5人に1人が認知症になるといわれており、働き盛りの若い世代でも発症することがあります。区では、認知症になっても、自分らしい毎日を送れるようにサポートしています。

☑ 体験の全部を忘れる

心当たり、ありませんか

一度は沖縄に行ってみたいねえ

去年、一緒に行ったのに…

もの忘れは加齢が原因とは限りません。もしかしたら認知症のサインかも。今すぐチェック☑

☑ 置き忘れ、紛失が頻繁になる

サイフどこに置いたかな

最近、忘れ物が増えたな…

☑ 家族、友人・知人なのに誰なのか分からない

はじめまして

親子なのに分からないのかな

☑ 食べたこと自体を忘れる

ご飯はまだかい?

さっき食べたばかりなのに…



あなたや家族に寄り添いながらサポートします

イラストを参考に「最近何かがおかしい」「もしかして」と思ったら、以下の窓口にご相談ください。

地域包括支援センター

高齢者やそのご家族が適切なサービスを受けられるように専門職が支援します。



区内に22か所！
詳細はコチラ

私たちが認知症の予防や対応方法などのサポートをします。どんなことでも早めにご相談ください！

地域包括支援センター蒲田
山倉 啓和さん



大田区若年性認知症支援相談窓口

令和2年10月に開設された支援相談窓口です。64歳以下で発症する認知症(若年性認知症)のご相談をお受けします。



詳細はコチラ

認知症の診断を受けていない方の相談もお受けします。ご本人の状況に合ったサポートをしますので、少しでも不安に思ったらご相談ください！

大田区若年性認知症支援相談窓口
中田 賢佑さん



かかりつけ医

まずは身近なかかりつけ医に相談してみましょう。必要に応じて専門医のいる病院の紹介が受けられます。

認知症カフェ

認知症の方やそのご家族、介護者の方同士が語り合える場です。お気軽にご参加ください。



詳細はコチラ

専門職に聞く！
認知症との付き合い方

4面へ